新年のごあいさつ

理　事　長　　原口　和久(鴻巣市長)

あけましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、本組合の事業運営に関しまして、平素より多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、我が国における社会保障制度については、国民皆保険・皆年金制度の実現から制度の成熟化をみましたが、今後、さらに急速に進展する少子高齢化社会に備え、より一層の制度の成熟と持続可能な制度の確立が喫緊の課題となっております。

本組合を取り巻く状況においては、財政の基盤となります掛金・負担金につきましては、組合員数に若干の増加が見られることから、増収傾向にありますが、医療費に係る短期経理については、高齢者に係る医療制度への支援金が増加することが懸念されます。このことから、引き続き厳しい財政状況が予想されますが、組合員及び被扶養者の皆様が安心して医療を受けられるよう財政の安定化に努めて参ります。

次に、年金給付に係る長期経理については、平成27年10月の被用者年金制度一元化以後においても、本組合は、年金裁定実施機関として引き続き年金記録の管理・裁定事務等を担っておりますので、組合員並びに年金受給者の皆様に対し、「丁寧な説明」と「ワンストップサービスの充実」に努めて参ります。

また、短期・長期事務に係るマイナンバーの情報連携につきましては、今後事務の効率化が図られますが、扱う情報等が莫大であることから、個人情報の漏えい等がないよう、引き続き適正な情報セキュリティの運営にも努めて参ります。

次に、福祉事業等につきましては、平成30年度より第3期特定健康診査・特定保健指導実施計画と第2期データヘルス計画がスタートしていますが、特に特定保健指導の実施率向上の取り組み強化としては、所属所との連携・協働(コラボヘルス)の推進が最重要と考え、引き続き、各所属所のご理解ご協力をいただきながら、疾病予防対策に努めて参ります。

また、草津保養所「アルペンローゼ」につきましては、組合員及びご家族の皆様に愛される施設を目指し、鋭意努力をして参りますので、格別のご愛顧を賜りますようお願いいたします。

社会保障制度の大きな変革期の中、共済組合を取り巻く状況も大きく変化し、課題も山積しておりますが、役職員一同、組合員並びにそのご家族の皆様の生活の安定と福祉の向上に寄与できるように引き続き努力していく所存でございますので、引き続き一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、各自治体のご発展と組合員皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

[市町村長側議員]

理事長　原口和久(鴻巣市)
理事　富岡　清(熊谷市)
(理事長職務代理者)
理事　大橋良一(加須市)
監事　石川良三(春日部市)
理事　富岡勝則(朝霞市)
議員　林伊佐雄(三芳町)
議員　賴髙英雄(蕨市)
議員　清水勇人(さいたま市)
議員　川合善明(川越市)
議員　吉田　昇(滑川町)

[職員側議員]

理事　國分政義(さいたま市)
理事　松本貢一(新座市)
理事　坂本善雄(深谷市)
理事　堀部信和(久喜市)
監事　板山裕樹(草加市)
議員　半貫芳男(狭山市)
議員　西岡英児(吉川市)
議員　山本一人(所沢市)
議員　尾熊　純(川口市)
議員　市川聡一(秩父市)
学識経験監事　寺山昌文
事務局長　中村　史

外職員一同